



ひとり1改革運動



「民間や市町等との連携・協働で、
課題の解決や事業の推進を図ろう！」改革賞

県内初！精神科病院長期入院患者及び病院職員向けの 施設見学バスツアーの実施 【西部健康福祉センター 福祉課 精神保健福祉班】



精神科病院に長期入院中の患者が退院後に利用する地域の施設を病院職員と一堂に会して見学に行く機会がありませんでした。

そこで、中東遠圏域のグループホーム、宿泊型自立訓練施設、就労支援施設、地域活動支援センター等の地域の施設を見学するバスツアーを県内で初めて開催しました。

長期入院中の患者は社会復帰に不安があるため、退院後の実際の生活の場として、地域の施設を複数見学し、施設職員の方々から直に説明を聞くことにより、具体的な退院後の生活をイメージできるようになりました。

また、病院職員と一緒に参加することにより、患者に身近な職員が地域の社会資源の知識を得ることができ、他の患者への波及効果も期待できるようになるなど、地域移行につながる機会を提供しました。

参加者：41人(患者20人、病院職員21人)
見学施設：10施設

おめでとう!



取組にあたって留意した点、工夫した点は？

生活圏域が2圏域に分かれていることから、患者が具体的に退院後利用できるようにするため、居住地に近い施設を見学できるよう2回に分けて実施しました。

また、多くの病院職員に理解を広めていただくため、精神保健福祉士・看護師だけでなく、様々な職種の方に参加していただきました。

【常葉大学経営学部 酒井 大策 講師 から一言】

すべてを公的機関が担うのではなく、民間・地域と協働し、適切な担い手が支援を行うことが、現代の社会福祉において重要であると指摘されています。患者への紹介だけを目的とするのではなく、職員も参加し理解を深めることによって今後の支援に役立つ取り組みとなっている点が非常に優れています。